21



Joinery
建具







木工技術の高みを目指しミリ単位の世界を競う

建具とは、建物の出入口や部屋の間仕切り、窓、和室のふすまや障子などのこと。主に、建物の外部に使われるものと、内部に使われるものの2種類に分類されます。外部の建具は、建物への出入口を風雨から建物を守り、外観を綺麗に整える役割。一方、内部の建具は、個室の出入口や大部屋の間仕切り、クローゼットの扉や和室のふすまなどで役に立っています。競技では、原寸の図面から手工具や電動工具を用いて加工を施すため、数多くの道具から何を使うべきか瞬時に判断する能力と、それを使いこなすための高度な技術が必要です。



＜2025年大会 競技課題＞

競技職種と生活との関わり

建具とは、建築物の開口部に設置される、開閉機能のついた仕切りのことです。家屋の壁に取り付けて屋外と屋内を仕切り雨風を遮る玄関のドアや窓、屋内を部分的に仕切り個室を作る障子やふすま、収納スペースを確保するためのクローゼットの折れ戸や台所の収納用の扉など、建具がない住宅はありません。最近ではレトロな木製建具に魅力を見出す人々も増えてきました。新品の建具の製作だけでなく、すでにある建具の修理や調整なども、建具職人の仕事です。

素早く綺麗に正確に！
高い精度が求められる建具の技能！

建具競技は細かく複雑な加工が多いため、各工程を素早く丁寧に行うことが必要です。作品の仕上がりや寸法精度、胴付き、ねじれ、矩手が評価の対象となります。様々な角度でつなぎ合うジョイントやルーターを使ったR型桟（曲線の骨組み）の加工など難易度が高く技術の見せ所です。また鉋（かんな）による仕上げの美しさにも注目です。

川口 博敬 主査　川口木工所



前回大会金メダリストからメッセージ！

［所属：有限会社佐藤木型製作所］

井本 和花 さん

諦めなければ
賞は獲れるので、
頑張ってください！



前回大会
金メダリスト
インタビュー！